

関東地方整備局、関東運輸局同時発表

平成28年10月13日
道路局
総合政策局

道の駅を活用した再配達削減に関する社会実験の開始について ～道の駅に再配達用宅配ロッカーを設置します～

10月24日（月）より、道の駅「庄和」（埼玉県春日部市）に再配達受取用の宅配ロッカーを設置し、地方部での再配達削減のスキームとしての可能性を検証する社会実験を開始します。

トラックドライバー不足が進行する一方、Eコマースの進展に伴い、近年宅配便取扱個数が急速に増加しています。更に宅配便の約2割が再配達となっており、再配達の削減が重要な課題となっています。

このため、都心部の鉄道駅等で設置が進みつつある再配達用の宅配ロッカーについて、地域の拠点である道の駅に設置し、地方部での再配達削減のスキームとしての可能性を検証する社会実験を官民連携で開始します。

また、今後、別の道の駅等においても実験を拡大する予定です。

<実験概要>

1. 実験期間：平成28年10月24日（月）～平成30年3月末（予定）
2. 実施箇所：道の駅 庄和（埼玉県春日部市）
3. 実施主体：道の駅を活用した再配達削減社会実験協議会
（有識者、宅配事業者、自治体、関係団体、関東地方整備局、関東運輸局）

<お問い合わせ先>

道路局企画課道路経済調査室 課長補佐 加納

代表：03-5253-8111（内線37-622）直通：03-5253-8487 FAX：03-5253-1618

総合政策局物流政策課企画室 環境班長 伊東

代表：03-5253-8111（内線53-315）直通：03-5253-8799 FAX：03-5253-1559